

第40号
平成19年
7月13日

すまいるたうん



汐入

発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

オンリーワンの輝き ヤエコ・コレクション



「きれい!!」

小林八重子さんのスワロフスキービーズの作品に出会った時、細工の細やかさ、美しさに思わず息を呑みました。

全国で千万人近くいると言われているビーズ愛好者ですが、小林八重子さんは独学

の中、毎日作り続けて10年が過ぎました。使用するのにはオーストリアのスワロフス

キー社製のもので。かつては貴族が、そして今でも日本の皇族の胸元を飾るこ

ともあるスワロフスキー社製のビーズは、通常のクリスタルガラスに比べ酸化鉛の

含有量が最低32%以上と多いのです。それでスワロフスキークリスタルガラス

は光の反射加減により虹色に見えるのです。また精密にスペクトルが出るよう計

算された、正確で高度なカット技術で輝きは最高級といわれています。

アクセサリ素材としてはもちろん、ベルサイユ宮殿やオペラ劇場のシャンデ

リアパーツとして世界中で幅広く使用されています。ダイアカット・ガラスカッ

ト、ソロバン型ハート型や十字架型、お花や動物などの形も色々、素材もキュー

ビックジルコニアやパールなど種類・色も様々です。大きさも様々で1ミリ〜10ミリもあります。見せていただいたビーズは300種類以上ありました。個性を引き出すビーズアクセサリはテグスやワイヤーを使用する編み物です。その中から一つの作品を仕上げるのに最低1時間ばかりかかります。何回も小さな穴にテグスを通す、細かく集中力の入る作業を繰り返します。

「気に入らなかつたら、テグスを切つて、また一から作り直せばいいだけ」

淡々とおっしゃる八重子さんの編み出すストラップ・ペンダントトップは、センスのよさとそのこだわりの作業から、趣味の枠を超えた、職人技ではないでしょうか?デパートに置かれているスワロフ

スキーのアクセサリと比べて遜色なく、むしろ商業ベースにはない細かなこだわりは温かみを感じます。

「長く愛され、喜んでいただければ嬉しい。」そんな誠実な気持ちには作品に表

れ、ロコミで広がり、注文依頼は増えています。

宝石のような重厚さはありませんが、スワロフスキーの持つ輝きと、手作りゆ

えの温もりある作品は、プレゼントにも最適です。価格は素材や種類により

が、千五百円からです。手頃な価格、そして価格以上の輝きは、持つ人に笑顔と満足を与えます。

私もすっかりファンになり、『プレゼントはヤエコ・コレクションで』と決めました。ぜひ、あなた自身の目で、こだわりのスワロフスキービーズ ヤエコ・コレクションを確認して下さい!

ヤエコ・コレクション
南千住1-5-3
第六瑞光小近く
小林八重子
電話090-7706-2293
AM9時~PM7時

第4回 南千住史跡巡り

日時 7月22日(日) 午後4時
場所 JR南千住改札口前集合

参加費無料

米倉屋敷跡↓南千住製絨所跡↓日本板紙跡↓若宮神社↓杉山さん宅にて座学 1時間程歩いて、杉山さんの仙成食堂でお話を聞きます。南千住再発見です。ぜひ、ご参加下さい。

電話(3803) 5210 杉山さん